

令和4年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

県央会場

科目 ⑬子どもの生活面における対応

- ◆ 子どもの生活面、特に食やアレルギーに関する講義を受講し、改めて体や命に関わる大事な事項を再確認することができました。アレルギーについては、基本的な知識をしっかりと持ち、反応が起きたときは慌てないで対応できるように、日頃の準備を常におこなうべきだと痛感しました。そして、私たち支援員自身、体調を整えていくこと、食に気を付けることを心がけ、児童の安心安全な環境をつくっていきたいと思います。
- ◆ 食物アレルギーについての内容が印象に残りました。特に、エピペンの使用法を教してもらったことが、とても良かったです。もしもの時はためらわずに使う勇気を持つことが大切だと思いました。また、アレルギーについて、子ども本人が分かっていることが、大切ということも分かりました。それでも誤食が起きてしまった時は、スタッフ全員で動いて保護者と主治医に連絡し、大事に至らないようにすることが大切ということが分かりました。
- ◆ 当たり前だと思っている「出欠確認」について、最近起こった保育園の送迎バスに園児が取り残される事故もあり、より徹底しなければならないと強く思いました。また、自分一人ではなく、横とのつながりを太くし、情報の共有をしっかりと行っていきたいと思います。また、衛生管理やアレルギー対応など、学んだことをすぐに取り入れていきたいと思います。どう進めていくか、何ができるかはこちらの配慮次第だと考えます。
- ◆ コロナ禍で手洗いが増えたからか、食中毒の件数が減ってきているという講師の話があり、基本的な手洗いの大切さを改めて感じました。また、菌やアレルギーにも様々な種類があり、知識を得ておくことで、万が一起きてしまった場合に素早く適切な対応ができると感じました。豆まきやそば打ち等のイベント時にも注意する必要があるというお話を聞き、子どもたちが安心安全な計画を立てたいと思いました。
- ◆ アレルギーのある子どもに対応する際は、誤飲・誤食の配膳ミスがないように、職員間で2重3重にチェックするように心がけていきたいと思います。また、緊急時の対応について、保護者と連絡を取り合い、職員間で情報共有し、間違いがないよう安全配慮していきたいと思いました。